

# 学校だより

小川中学校

No. 25

平成27年 1月29日

文責：校長 佐藤正則

## 落ち着いて3学期スタート

3学期が始まって、3週間が過ぎましたが、どの学年も、全体として落ち着いた学校生活を送っています。

3学期は、年度のまとめと進級、進学準備の学期です。特に大切なことは、4月当初描いた年度終わりの成長した姿を実現することです。たとえ実現できなくとも、少しでもその姿に近づく努力が、4月からの進学先、進級学年でのやる気や目標につながっていきます。

その点で、短い3学期、落ち着いた生活態度は、まとめに向けてのやる気をとても感じています。



中学生チームの

## 中学生チーム、4年ぶりに参加 第29回小川地区町内一周駅伝競走大会

1月18日(日)に行われた大会に、中学生チームが3チーム参加し、29回目の大会を盛り上げました。特設駅伝部の生徒を中心に、小川中A、K、Bと3つの混合チームを作りました。

当日は、強風が吹き付けていましたが、風にも負けず、日頃の練習の成果を発揮しようと、全力で最後までタスキをつなぎきりました。その結果、中学生チームは、全体で4、5、6位でゴールしました。中学生チームとしての結果は次のとおりです。



順位	チーム名	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区
1位	チームK	鈴木龍聖	鯨岡鑑人	箱崎光輝	志賀明優	中崎千笑	熊谷美々杏	吉田悠華
2位	チームB	遠藤圭悟	鈴木大翔	高橋駿哉	沼沢優志	伊東隼矢	安田優花	長谷川伸幸
3位	チームA	佐藤翔	木田涼	菅谷朱音	鈴木颯斗	菅野公一朗	井戸川都	佐藤雄大

※太字斜字体は区間賞生徒

他に、地区チームのメンバーとしても中学生が出場しました。

出場した生徒は次のとおりです、本郷地区：渋川史人、井戸川剛、内野沙耶、高萩地区：中野新、草野真輝、野村尚美、山ノ入：佐藤海斗、上平：草野拓巳、上ノ原：國府田泰希、柴原：吉田峻、渡辺ひびきの11人です。お疲れ様でした。

# 県立Ⅰ期選抜に54人出願

3年生は進路選択真っ最中です。現在、福島高専推薦選抜と私立高校の受験と発表が終了しています。現在まで進路が確定した生徒は、6人です。福島高専に2人、県内外の私立高校に4人です。

県立Ⅰ期選抜試験は、2月3、4日に行われ、内定発表は6日です。ほとんどの高校、学科の競争率は高い状態ですが、当日は、自分の思いやよさを十二分に伝えてきてほしいと思っています。



## 小っ中魂だ、特設駅伝部

1月31日(土)に、21世紀の森で市新人駅伝競走大会が行われます。

本校の特設駅伝部は、現在50名弱が所属し、短時間ですが毎日早朝練習を続けてきました。この中から、選抜してチームを作りました。目標は、男女とも10位以内です。

## 第2回ワンプロカード、3万1700円

学 年	募金者	達成率
1年生	47人	90%
2年生	18人	37%
3年生	21人	30%
合 計	86人	50%



第2回のワンプロカードの取り組みが終了しました。集まった募金額は、合計3万1700円で、1回目と合わせると6万弱となります。本校の募金目標は、8万5500円(171人×500円)ですから、残念ながら、目標達成とはなりませんでした。

2回目のワンプロカードは、冬休み中の生活に関する目標でした。勉強面、生活面を中心に5つの目標を掲げ、一つ達成するごとに100円を募金するという取り組みでした。

達成状況を見ると、1年生は、達成率が大変高いのですが、2、3年生は40%以下という状態です。「目標が高すぎたのか、いい加減にしたのか、初めからやる気がないのか」は不明ですが、ゆゆしき状態です。生徒会本部が呼びかけたことに対する反応、協力の度合いを示す数字だからです。特に、来年度、生徒会を担う2年生の協力が少ないのが気になります。本校を背負う最高学年になるわけですか、もっと積極的にリードしてほしいのです。

無遅刻連続記録は現在も続いており、大変素晴らしい校風を築き上げています。「全校一丸となって取り組み、目標を達成し、それをみんなでたたえ合える。」そんな生徒会活動を通じて、一人ひとりの自信と誇りを育てたい、と考えています。

## 無遅刻連続日数

現在 **132** 日

100日を越え、現在も続けています。次の目標は150日、3月初め頃に達成予定です。